

平成27年度 事業計画

1. 事業方針

国内情勢は、昨年末の総選挙の結果から、今後4年間安倍政権に託すこととなったが、アベノミクスの成功については賛否両論あり、現時点でも明確に言えるものは何もない。国内消費は依然として低迷しており、金持ちの投資家や一部の大企業、また、大都市圏は別として我々のような地方には好景気を感じる気配は全くないのが現状である。

国の内外においては自然災害、テロ、IS国、殺害事件、隣国の領土問題等々大変な難題が山積しており先行きが非常に心配されるものです。

さて、当センターにおいては本年度設立15周年、南部5町村が広域センターとなって7年目を迎えます。15周年記念事業としては、総会に合わせて理事長から15年間の概要等を含めてあいさつを申し上げ、会員には記念品を贈ることとなりました。

近年の事業状況ですが、契約金額において25年度が1億2千6百万円、26年度は1月末で1億3千百万円であり順調に推移しております。しかしシルバーに対する27年度の補助金は大幅に減額され、更に派遣事業を実施しなければならない状況となり、シルバー本来の請負による就業が大きく変わろうとしています。シルバーを取り巻く環境が創設以来最大の変革期に来ている現状です。

このように変化する状況の中で、シルバーの果たす役割は大変重要となっており、地域社会にあった、地域ニーズに応えるため積極的に事業の実施をしなければならない。具体的事業としては、基盤拡大事業(会員拡大、就業拡大)、高齢者・現役世代雇用サポート事業、シルバー派遣事業、独自事業等の実施をはじめ、社会貢献できる事業を創意工夫し、「中期5カ年計画」に基づき目標達成のため前進しなければならない。また、会員の安全確保は最重要課題であります。「安全は全てに優先する」を基本とし、全会員、役職員が一丸となって取り組まなければならない。

シルバーの基本理念「自主・自立、共働・共助」により、「希望と活力と魅力あふれる」地域づくりを推進するため、以下の重点目標を定め事業を積極的に展開します。

重点目標

1. 安全就業を基本に事故ゼロを目指し適正就業に努める
2. 基盤拡大(会員拡大、就業拡大)と会員の資質の向上に努める
3. 組織体制の活性化と充実及び強化に努める
4. 広報・普及啓発活動の強化に努める
5. 「自主・自立、共働・共助」による事業の運営に努める
6. 福利厚生事業の積極的支援に努める
7. 健全な財政運営と事務局体制の整備に努める

2. 事業実施計画

(1) 安全・適正就業推進事業

「安全は全てに優先する」を基本として、「事故ゼロ」を目標に安全適正就業の徹底を図る。

26年度は凍結路で転倒し骨折により2か月以上の入院をはじめ数件の事故が発生し、ここ数年では最も多い件数となりました。事故は一寸した気の緩みから起きる事故がほとんどです。一人ひとりが安全意識と細心の注意により就業を行うことが基本です。27年度においては組織を挙げて重篤事故はもとより、全ての事故の撲滅を図らなければならない。

- ① 機械器具安全取扱実技講習会の開催
- ② 安全・適正就業研修会の開催
- ③ 作業別安全・適正就業マニュアルの励行
- ④ 安全・適正就業の積極的な呼びかけ
- ⑤ 健康管理講習会の開催
- ⑥ 安全パトロールの実施
- ⑦ 作業前の安全ミーティング実施の徹底（安全確認シート）
- ⑧ 部会の開催
- ⑨ 「標語の募集」を行い優秀作品の表彰

(2) 広報・普及啓発活動事業

広報活動は、シルバー事業の内容について、広く地域住民に理解していただく最良の手段であります。このため事業内容、会員の拡大及び就業開拓については、あらゆる機会を通じて広報活動と普及啓発を行う。

- ① 地区役員の下、啓蒙活動を活発に実施する(地区代表、各班長)
- ② 普及啓発促進月間(10月)を中心に、諸事業を積極的に推進する
シルバーフェア、8地区ごと独自のボランティア活動等の実施
- ③ 町村広報誌、チラシ、ホームページ等による広報活動
- ④ 会員1人が1会員を増やす啓蒙活動を行う
- ⑤ 広報誌、チラシ、研修等を通し会員それぞれが資質の向上を図る
- ⑥ 広報誌(シルバーだより)の充実を図り、年2回以上発行する
- ⑦ 部会の開催
- ⑧ あらゆる広報媒体の活用

(3) 事業の拡大と就業開拓事業

財政基盤の強化と拡大のため、会員及び就業拡大に取り組みます。また、地域社会のニーズに応えるため、各種事業を検討し実施します。

団塊の世代、ホワイトカラー層世代を中心に会員拡大(特に女性会員)を行い、高齢者が地域社会で活躍できる場を創出する事業を実施していきます。また、会

員の公平な就業及び就業率向上を目指します。

基盤拡大と強化のためには、就業機会の開拓と確保が必要不可欠であり、その充実が会員数の増加につながることから、積極的に新規事業の開拓を推進します。

- ① 地域の隅々まで就業開拓に力を入れる
- ② 公共関係の受注を更に充実・拡大する
- ③ 会員の「ロコミ運動」(一会員一仕事の開拓)
- ④ 各地区、役員は率先して就業開拓に努める
- ⑤ 地域班、職群班と情報を密にして就業開拓を推進する
- ⑥ 閑散期(冬期間)の就業開拓を行う
- ⑦ 未就業会員対策の検討
- ⑧ 果樹、庭木の剪定講習会実施
- ⑨ 部会の開催
- ⑩ 独自事業の充実と新事業導入の検討

(4) 組織の活性化と会員相互の連絡強化

「自主・自立、共働・共助」による事業の運営を図り、共に支え合い協力し組織の強化に努める。

- ① 専門部会組織の活性化とシルバー組織の強化を図る
- ② 地区組織と各部会との連絡協調を図り地域社会の活性化を支える
- ③ 各部会の活動の活性化を図るとともに連絡、協力体制を強化する
- ④ ボランティア活動等の実施（普及啓発部会と連携）
（各地区特色ある計画を地区代表の下、企画実行する）
- ⑤ 先進地視察の計画実施
- ⑥ 総会等出席義務行事への参加率の向上に努める
- ⑦ 親睦会活動を支援し会員の交流と福祉の向上に努める
- ⑧ 部会の開催
- ⑨ 地区懇談会を開催し、多くの会員の意見を聞き組織の強化に努める
- ⑩ 女性部会の組織強化と活動の推進に努める

(5) 独自事業

各地区等において特色ある「独自事業」を実施する。新野地区は引き続いて「トウモロコシ栽培と販売」を、他の地区もそれぞれ創意工夫し実施を検討する。

(6) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

本年度は、国の委託事業として地域の人手不足分野を中心に、就業開拓、就業会員の確保を行い、ニーズにマッチした会員を派遣する事業を実施する。

具体的には、センターでコーディネーターを雇用し、①就業開拓(事業所訪問、

提案営業等を実施)、②会員確保(団塊の世代、(多くが元ホワイトカラー層)をにらんだ新たな職域拡大(シルバー派遣で出来る業務の企画立案)、③業務説明会及び入会説明会を開催し、会員、担い手の確保、④開拓した就業に係る担い手を会員の就業希望、能力等を考慮しマッチングを行い派遣する。

(7) シルバー派遣事業

派遣事業は、長野県シルバー人材センター連合会が事業主体となり、当センターは阿南広域事業所となります。就業は従来の請負等と同じで「臨時的かつ短期的または軽易な業務」に係る派遣事業であり、「臨時的かつ短期的な業務」は4週間を超えない期間につき概ね10日間以内、「軽易な業務」は1週間当たり概ね20時間以内となっております。会員は、派遣労働会員に登録した者が対象となります。当事業は法令の遵守をはじめ、相当の規制等があり具体化した時点で詳細は説明しますので、派遣についてご協力をお願いします。

(8) 健全な財政運営

27年度国の補助金は、運営費で50万円、基盤拡大事業費で80万円の減額となり、派遣事業を行わないセンターは130万円の純減となります。その減額分を新たな事業(派遣事業)へと切替えてきています。しかし、簡単に取り組みのできる事業ではないので大変苦勞している状況であります。

自治体からの補助金は、関係5町村の深いご理解とご協力によりまして昨年同額の補助金をいただいております。歳出は厳しい状況の中経費節減に努め必要最小限に切り詰めており、引き続き健全な財政運営に努めます。

(9) 27年度目標数値(中期5カ年計画より)

- ・会員数 361名
- ・受注件数 1,880件
- ・契約金額 124,000千円
- ・就業率 91%